Shinagawa City 品川区

令和6年12月
品川区長 定例記者会見

主要施策一覧

Shinagawa City 品川区

主要施策

【都内区市町村初】ユースヘルスケアしながわほけんしつ

都内区市町村初のユースクリニック開設　全国初となる生成AIを活用した6月補正予算編成から実現　令和7年1月本格実施

【都内区市町村初】ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

区が抱える地域課題・社会課題を解決する企業・団体の事業に対して資金提供を行い、実証実験やイニシャルコストを助成し、将来的に資金支援がなくても事業継続してもらうことを目指す

デジタルプラットフォーム試行実施

時間も場所も選ばずに手軽に利用できるデジタルプラットフォームを試験導入

公契約条例の制定

公契約の透明性の確保・公契約に従事する者の労働環境整備　令和7年4月1日施行

（1）ユースヘルスケアしながわほけんしつ

【都内区市町村初】

Shinagawa City 品川区

背景

「ユースクリニック」を都内区市町村として初めて開設
全国初となる生成AIを活用した6月補正予算編成から実現

令和5年度 全区民アンケート ▶ 約10万人分の自由記述欄 約650万文字

▼

AI分析により **潜在的なニーズ** を抽出

▼

子どもたちの望む声

- 自分自身の心と身体の健康
- 誰もが平等に過ごせる環境

実施事業

ユースヘルスケアしながわほけんしつ

■実施内容

しなわかチャット

心やからだ、性のことについて
不安や悩みをチャットで相談できる

公認心理師、保健師などの
専門資格を持った相談員が
LINEで応対

しなわかカフェ

オープンな場で相談員と話せるだけでなく、希望者は個別ブースで相談することも可能

■実施スケジュール

令和6年10月
試行実施

令和7年1月本格実施

【しなわかチャット】
水曜日を除く平日の午後4時～9時
日曜日の午前10時～午後3時
公認心理師、保健師などの専門資格を持った相談員が待機して、LINEで応対

【しなわかカフェ】
月1回の対面相談会を開催し
相談員が応対

■対象
区内在住の中学生以上の10代の若者

「品川区ジェンダー平等と性の多様性を尊重し合う社会を実現するための条例」の制定（令和6年4月1日施行）

若者のリプロダクティブ・ヘルス/ライツを守りウェルビーイングを向上

（2）ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

【都内区市町村初】

今年5月 内閣府から **SDGs未来都市** **自治体SDGsモデル事業** にW選定

モデル事業の一部

「ウェルビーイング・SDGs推進ファンド」の構築

目的	SDGsの達成に資する地域課題・社会課題を解決する企業・団体の事業に対して資金提供を行い 実証実験やイニシャルコストを助成し、将来的に資金支援がなくても事業継続してもらうことを目指す
選定フロー	1次（書類）審査 ＞ プレゼンテーション ＞ 4提案を選定
助成金額	1事業あたり上限500万円を助成

（2）ウェルビーイング・SDGs推進ファンド　今年度選定事業　【都内区市町村初】

拠点型テーマ発見コミュニティの運営

事業者：一般社団法人4th Place　株式会社ラヴィプラス｜助成額：4,780千円

子どもたちにとって、学校・家庭・塾以外で自由に集うことができる拠点づくり

・遊びのルールは子どもたち自身で作る
・Z世代の若者がサポート
・定期的なイベント開催

交流により子どもの自立、成長を促す

目黒駅前ウェルビーイングupプロジェクト

事業者：一般社団法人めぐもり｜助成額：3,484千円

目黒駅周辺地域でのイベントを通じて、地域における人と人との顔の見える関係を形成「ゆるいつながり」を創出

【イベント例】
「CCC（Clean up Coffee Club）目黒」
「まちなか防災」「目黒街角クリスマス」など

こみゅにてぃぷらざ八潮をめぐるリジェネラティブなまちづくり

事業者：特定非営利活動法人 みんなの食育｜助成額：1,026千円

立正大学と連携し、「こみゅにてぃぷらざ八潮」の畑で親子向けに事業を実施

・無農薬・無化学肥料による野菜の栽培
・コンポストを活用による土壌再生
・昔遊びやしめ縄づくり、SDGsゲーム

子ども世代、親世代、高齢者の3世代交流

教育版Minecraftで目指すSDGsシティしながわ

事業者：一般社団法人Nボノ｜助成額：787千円

「教育版Minecraft」を活用
大人も子どもも一緒になってSDGsや地域課題解決を学ぶ

・SDGsを学ぶワークショップ
・教育版Minecraftの体験会

▼

「Minecraftカップ」出場を目指す

区民の意見や地域ニーズを幅広く集め政策立案につなげるために デジタルプラットフォームを試行実施

従来の区による意見収集

■区民が区に意見を届ける手法

来訪　電話　メール

■その他の手段

タウンミーティング（年4回程度）

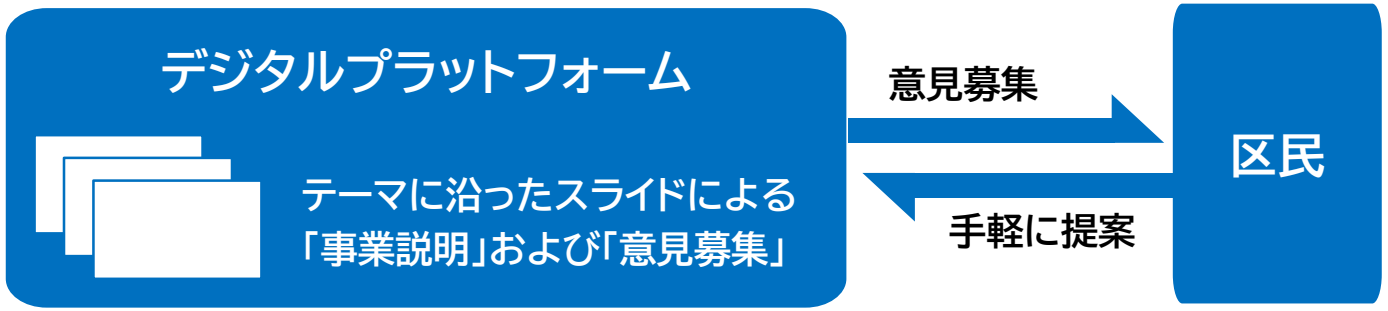
人数、日時、時間、場所が限定的
より多くの貴重な意見を収集するために
新たな手法が必要

デジタルプラットフォームを活用

時間も場所も選ばずに手軽に利用できるデジタルプラットフォームを導入することで
時間も場所に限定されることなく、いつでもどこでも意見を出すことが可能

区民の意見や地域ニーズを幅広く収集

政策立案につなげる



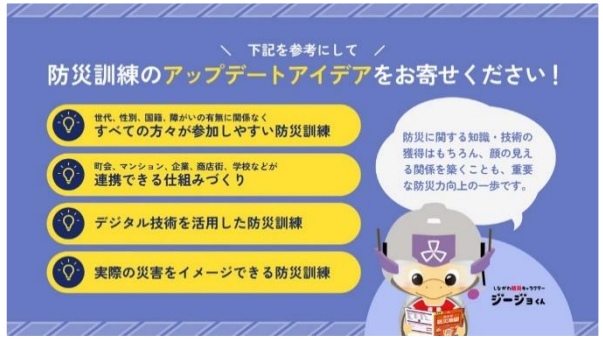
デジタル民主主義の推進▶新しい民主主義のあり方にアップデート

試行実施概要

テーマ　あなたの声で品川区の防災訓練をアップデート！
参加したくなる防災訓練とは？

期間　令和6年10月23日～11月24日

背景　来年度、防災訓練の見直しを検討しており、町会、マンション、企業、商店街、学校などが連携できる仕組みづくり、新たなデジタル技術を活用した防災訓練など、より現代的で実践的な内容とする



集まったご意見（一部）

- ペットも参加できる避難訓練
- ゲーム要素がある（スタンプラリー型防災訓練など）
- VRやARを活用した訓練の実施

集まったご意見の総件数：108件

来年度以降のデジタルプラットフォーム本格導入に向け検討

EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）の実現につなげる

Shinagawa City 品川区

区の締結する契約の品質・履行の確保

背景

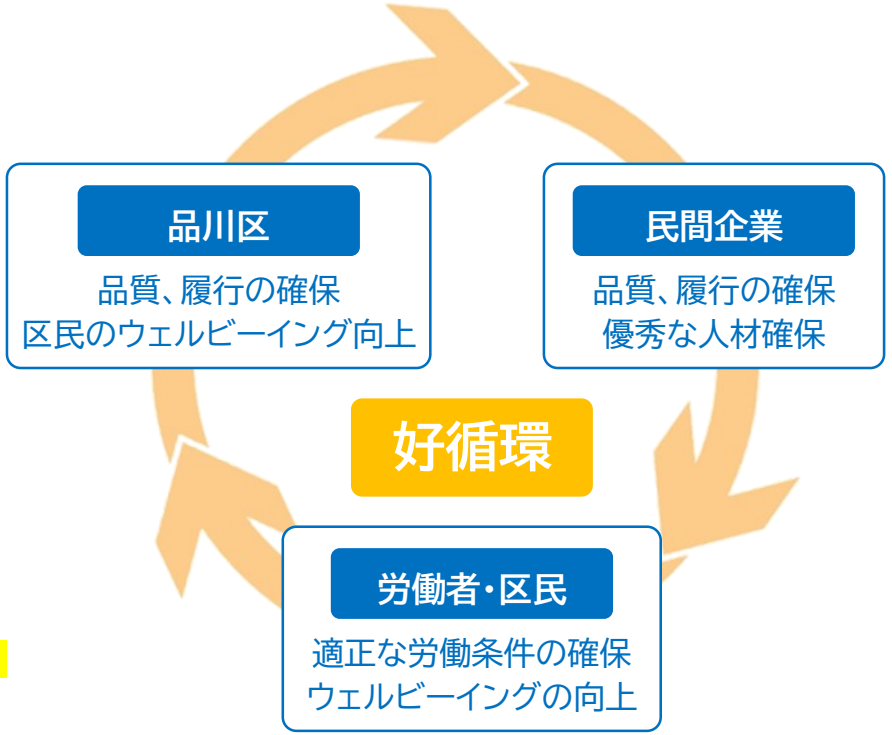
〇有識者や区内関係団体との意見交換等を重ね制定に向け検討

〇近年の人件費、原材料費の高騰

目的

〇公契約の透明性確保・公契約に従事する者の労働環境整備
　公共工事などの品質・履行の確保を図る

〇区民のウェルビーイングの向上につなげる

区議会第4回定例会本会議で可決され令和7年4月1日からの施行

公契約条例制定による効果